

目標達成計画

作成日: 令和 7年 11月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の議事録を出席者のみに配布していた為、他の入居者家族にその場で話されたことが共有できず、伝わっていない。	会議の出席者だけではなくすべての入居者の家族へも見ていただくように考える、実践する。	運営推進会議の議事録を今後すべての家族へ送付し、どのような話がされているのかを周知する。	1ヶ月
2	26	介護目標に沿った支援の実施状況と記録、スタッフ全員の確認が不十分	一人一人の目標に合わせた介護をスタッフ全員で共有し、実践したことを確認できるような記録を行っていく。	目標に沿った介助を実践したスタッフがその都度記録を確実に言い、他のスタッフも確認できるよう声掛けも忘れずに行う。	2~3ヶ月
3	35	消防訓練に際し、いまだ消防署の立会いがない。	スタートしてから2年がたち、毎回ビル全体での訓練となる為、他部署と連携しながら消防署も参加する訓練を行う。	訓練計画の中で他の部署と連携し、全体での消防訓練に消防署の参加を呼び掛ける。	7ヶ月
4	65	推進会議での自治会長・副会長との関係は築けているものの、周辺住民との関わりが乏しい。	今後自治会長を通して周辺住民との話し合いの場を設け、関係構築を行う。	消防訓練やグループホームで行う季節の行事への参加を呼び掛け、スタッフや入居者を覚えてもらい、関わりを増やしていく。また、会長・副会長だけの参加になっている推進会議に、ほかの役員にも参加してほしいと会長から伝えてもらい、少しでも多くの自治会役員との交流を持っていきます。	6ヶ月